

【提案評価表】

評価項目		評価事項(評価基準)	評価基準				重み	上限配点	比重
			A(5点)	B(3点)	C(1点)	欠格事項			
1 業務における課題の解決、機能要件の実現							21	105	58.3%
1.1	業務理解	本市が達成しようとしている目標について理解しているか。その上で、目標達成に向けての具体的な取り組みについて提案されているか。	右記Bの基準を満たし、かつ、提案内容も本市の想定を超える卓越した内容となっている。	本市の業務について理解しており、提案内容も本市の目標と一致している。	本市の業務について、一般的な理解に留まっている。提案内容は自社都合の提案に留まっている。	提案がされていない、もしくは業務を理解していない	5	25	13.9%
1.2	機能要件	個別支援記録システムの機能要件を満たしているか。その上で、将来の拡張性や技術的な実現性を考慮した具体的な提案がなされているか。	右記Bの基準を満たし、かつ、提案内容も本市の想定を超える卓越した内容となっている。	要件を満たし、かつ本市の業務に適合している。提案内容も、将来の拡張性や技術的な実現性を考慮し、具体化されている。	一部要件を満たしていないが、代替案等を提案している。	提案がされていない、もしくは要件を満たしていない。	7	35	19.4%
1.3	操作性・デザイン	保健師、助産師、会計年度任用職員(看護職)等、パソコンの操作に必ずしも慣れない職種の職員も利用するシステムであることを踏まえ、データ入力の効率性、操作のわかりやすさ、システムに対する拒否感の軽減等に対する、具体的かつ妥当な提案がされているか。	右記Bの基準を満たし、かつ、操作性・デザインに優れており、業務効率化に大きく貢献できる。	パソコン操作に不慣れな職員にとってわかりやすい内容である	一部要件を満たしていないが、代替案等を提案している。	提案がされていない、もしくは不適切である	7	35	19.4%
1.4	研修体制	研修の実施や操作マニュアルの充実等、利用者がシステムに習熟するための方策について、具体的かつ妥当な提案がされているか。	右記Bの基準を満たし、かつ、現場の実情を十分に理解した提案がされている	要件を満たし、適切な提案がされている	一部要件を満たしていないが、代替案等を提案している。	提案がされていない、もしくは不適切である	2	10	5.6%
2 AIST包括フレームワーク及び基盤システムの活用							4	20	11.1%
2.1	プロセスの理解とテラリング方針	要件分析プロセス	要件分析プロセスについてどのような作業を実施するのか具体的に理解しているか。システム開発期間が限られている中で、委託者が真に必要な要件を確定するための工程の実施計画は妥当であるか。	右記Bの基準を満たし、かつ、実効性が十分あり、本市の状況を理解した提案がされている	要件を満たし、適切な提案がされている	一部要件を満たしていないが、代替案等を提案している。	2	10	5.6%
2.2	アーキテクチャ		システムのアーキテクチャは、AIST包括フレームワークに規定された内容を踏まえつつ、システムの機能要件・非機能要件と比して妥当な提案となっているか。	右記Bの基準を満たし、かつ、通常想定される提案として、優位性のある内容である。	要件を満たし、適切な提案がされている	一部要件を満たしていないが、代替案等を提案している。	1	5	2.8%
2.3	情報共有基盤の活用	リソース制約への対応	仮想基盤から提供可能なリソース量を考慮し、システム構成上の工夫がされているか。サーバ構成は実現可能な提案となっているか。	対応している	—	対応していない	1	5	2.8%
3 プロジェクト計画・管理							9	45	25.0%
3.1	スケジュール		本市が指定するマイルストーンに従ったスケジュールとなっているか。マイルストーンの到達に向けて、受託者、委託者、関係者(情報共有基盤保守運用事業者、連携先他システム事業者等)に対して無理のあるスケジュールリングがされていないか。	右記Bの基準を満たし、かつ、実効性が十分あり、本市の状況を理解した提案がされている	要件を満たし、適切な提案がされている	一部要件を満たしていないが、代替案等を提案している。	4	20	11.1%
3.2	体制		本システムの規模と比較して、各工程に携わる人数は必要十分であるか。体制図は十分に詳細化され、開発、工程管理、品質保証の活動を適切に実施できるよう、役割・責任が明記されているか。プロジェクトメンバーは、本件実施に十分な経験を持つことが説明されているか。	右記Bの基準を満たし、かつ、通常想定される提案として、優位性のある内容である。	要件を満たし、適切な提案がされている	一部要件を満たしていないが、代替案等を提案している。	2	10	5.6%
3.3	プロジェクト管理	進捗管理、課題管理、コミュニケーション計画	本市から見て進捗状況が把握しやすいような進捗管理が為されるか。プロジェクトに潜む課題を把握し管理するための工夫が為されるか。本市や関連する他システム等、利害関係者と調整をするためのコミュニケーション計画及びプロジェクトの意思決定手順等が示されているか。それらの方法は現実的かつ妥当であるか。	右記Bの基準を満たし、かつ、実効性が十分あり、本市の利害関係者の状況を理解した提案がされている	要件を満たし、適切な提案がされている	一部要件を満たしていないが、代替案等を提案している。	3	15	8.3%
4 会社の実績							2	10	5.6%
4.1	会社としての開発実績(業務面)		以下の実績について評価する。 ・他の他方公共団体における、業務システムの開発実績	都道府県または政令指定都市における業務システムの実績を有している	—	都道府県または政令指定都市における業務システムの実績を有していない	1	5	2.8%
4.2	会社としての開発実績(業務面)		以下の実績について評価する。 ・保健衛生分野(特に母子保健)に関連した業務システムの開発実績 ・今回本市が想定する個別支援記録管理に相当するシステムの開発実績	保健衛生分野(特に母子保健)に関連した業務システム及び個別支援記録管理システムに相当するシステム開発の実績を有している	保健衛生分野(特に母子保健)に関連した業務システム又は個別支援記録管理システムに相当するシステム開発のいずれかの実績を有している	保健衛生分野(特に母子保健)に関連した業務システム及び個別支援記録管理システムに相当するシステム開発のいずれも実績を有していない	1	5	2.8%
合計							36	180	100.0%